

令和4年度・令和5年度  
湖南省生涯学習審議会

「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」  
についての報告書

令和6年（2024年）3月

湖南省生涯学習審議会

# 目 次

I. はじめに	1
II. 今期の取り組み概要	2
1. 今期の取り組み	2
①テーマ	
②趣旨	
III. 審議会での主な意見	3
①令和4年度第2回生涯学習審議会	3
②令和5年度第1回生涯学習審議会	5
③令和5年度第2回生涯学習審議会	6
④令和5年度第3回生涯学習審議会	7
IV. おわりに	10
V. 資料等	
1. 令和4年度・令和5年度 生涯学習審議会 開催概要	
2. 生涯学習審議会委員（社会教育委員）名簿	
3. 湖南省生涯学習審議会条例	

## I.はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○感染症の拡大や人口減少、高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、急速な社会経済環境の変化を受け、今後、我が国の地域社会においては、住民主体でこれらの課題や変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されている。こうした中で、地域における社会教育には、一人ひとりの生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える取組に資することがより一層期待されていると言える。

○令和4年度から、湖南省ではまちづくりや観光において、スムーズで効果的な活用を行い、市民サービスの向上をはかるため、生涯学習課が所管していた教育に関する事務の一部を以下のように移管された。

- ①スポーツ・文化振興に関する業務は、国民スポーツ大会障害者スポーツ大会の推進によりスポーツ行政の活性化を図るため、総合政策部文化スポーツ課に移管。
- ②文化財に関する業務は、観光と一体した業務の推進を図るため、環境経済部商工観光労政課に移管。
- ③市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）を総合政策部地域創生推進課に移管。
- ④その他生涯学習課に関する業務については、教育部内新たに設置された教育支援課が所管。

○令和4年度から生涯学習審議会は、生涯学習のまちづくり審議会の名称を変更し、社会教育委員会議をこれに統合された。社会教育委員会議は、教育委員会の諮問を受けて、社会教育に関する諸課題を審議、調査する機関であり、生涯学習のまちづくり審議会は、市長または教育委員会の諮問を受けて、学校教育を含む生涯学習の諸課題を調査審議調査する機関であり、この機能が似通った二つの組織を統合された。社会教育委員が社会教育だけを扱うのではなく、学校教育を含めた生涯学習全般を扱えるように生涯学習審議会は教育委員会の範囲を超えて、また社会教育の範囲を超えて、広く湖南省の生涯学習全般について審議、調査をし、指導や助言をすることが可能となり、社会教育の拡充に寄与するものとなった。

○今期（令和4年度～令和5年度）の生涯学習審議会では、社会教育・生涯学習行政を進めていくうえで、市民としての感覚、行政にはない視点を大切にしながら令和5年度近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）の研究主題である「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」について研究を行い、以下のとおり報告書を作成した。

## Ⅱ. 今期の取り組み概要

### 1. 今期の取り組み

#### ①テーマ

「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」について

#### ②趣旨

令和5年度近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）の研究主題が「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」である。令和4年度・令和5年度の審議会では、湖南市として取り組んでいることを考え、まとめた上で、本審議会でも話した結果を近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）の分科会の中で質問することをめざす。また、大会後は湖南市における「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」を推進していくための方針や方策について報告を行う。



### Ⅲ. 審議会での主な意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### ①令和4年度第2回生涯学習審議会

○令和5年2月21日（月）午後7時～午後8時30分

#### 現状についての意見

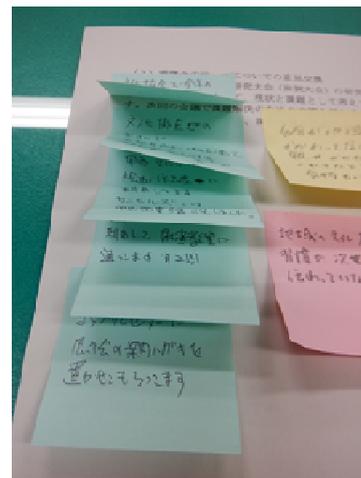
- ・若いかたのコミュニティへの入り口がみつけにくい。
- ・地域をつなぐもの、伝統行事の衰退により、地域の力を弱めている。
- ・伝統行事があっても参加しない。若い人の負担になっている。
- ・まちが本当に好きで集まってくるような地域、伝統行事のないところは代わるものをどうやってつくっていくか。
- ・地域の文化や歴史、習慣の伝承がない。地域への愛着や誇りがうまれていくように、地域で独自に持っているものをどのようにアピールしていくか。
- ・地域での、市全体、年齢的にもいろいろな人たちが、助けたり、応援したり、支援したりする、ことができていないのではないかと。できるように、どのようにしていくか。
- ・学校の広報紙は地域へ回覧されて情報はあるけど、学校が地域に何を求めているのか、困っていること、助けてほしいことは、地域の一人ひとりには伝わっていないのではないかと。学校と地域のつながりをどのようにしていくか。
- ・地域への愛着と誇りは、その地域が大好きで大好きで、ここがいいって思える気持ちがひとりずつ持てること。
- ・お祭りといった行事のこと。学校と地域がもう少し繋がっていく。若い人のコミュニティの入口のこと。
- ・コロナ禍であまり行事ができなかった。行事へ時間のある人がばっと集まって参加というのはあるが、参加の年代にはむらがあり、30歳代や40歳代の参加がないように思う。顔の見えたコミュニティができていないのでは。
- ・地域の助け合い、助けてもらったから地域に返そう、という気持ちや育ちついでいうのを、育んでいくことが非常に大切。
- ・その育みが子どもたちの学びや育ちにつながり、大人になってから地域に入ってきた人々も一緒になって参加してもらい、そこで育み学び、地域を好きになってもらうことも必要。
- ・話をしたり、コミュニケーションを取ったりしていくには、人が集まらないといけない。無料でいろいろな世代のかたが多く集まって交流ができるような定必要。
- ・子どもや高齢者が来ていただいたら、参加の無い30歳代・40歳代の人、顔や生活実態も何となく見えてくるのではないかと。
- ・高齢者のかたや今までたくさんいろいろな知識を持って地域の良いところを知っていらっしゃるかたが、深く関わっていただき、その知識や地域の良いところを、実感として教えてくだされば、それも良い学びになるのでは。
- ・「あいさつ運動」で、子どもたちも、挨拶を進んですることは難しい。やはり挨拶はコミュニティや、コミュニケーション取るときに第一。自分から進んで物事の第一歩を踏み出せる

ような人間の形成っていうのは非常に大切。

- ・自分はお客さんとして参加するような場合は、結構集まってくださる。そうではなくて、自分がこれを作るんだ、自分がここで一つの起点を作っていくんだという考え方ができるように、子どもも大人も前向きな姿勢を取っていける社会にしていかなければいけない。
- ・そのような姿勢も含めて、どこにアプローチしたらどういうふうなアドバイスがもらえて、というチャンネルの繋ぎ合いも非常に大切。困っていることを繋いでもらったり、行政か他のところかどこにつなげると良いのかのアドバイスをいただいたりできる。地域のコミュニティがしっかりできていれば、思わぬところで、そういったアドバイスをいただける。
- ・いろいろつながっていくことによって、思いもよらないような動きができる。それが、今はすごくコミュニティとして少なくなっている。
- ・常に学んでいく、学ぶ姿勢を見せていくことを、大人が見せないといけない。
- ・大人になっても、自分が学んでいかないといけないから学ぶ、まだまだ学んでいくことはいっぱいあるという姿勢を、子どもや自分より若い年代の人たちに見せていくという姿勢が、次の一歩を出す姿勢につながっていく。

#### 課題についての意見

- ・「祭」がコミュニティとして自覚され、皆さんのご意見中で共通している大きなテーマではないか。湖南省の場合、祭りのある在来の集落、それとまったく祭りのない団地が混在して、湖南省の文化そのものができ上がっている。その特色があり、湖南省ならではのコミュニティを良くしていくというのが、大事なことではないか。
- ・伝統文化について取り上げるのが、一番適切な方法ではないか。伝統文化とそれを取り巻く人たちの姿ではないか。
- ・伝統や文化がどのように湖南省の独自のものとして扱っていくか。



## ②令和5年度第1回生涯学習審議会

○令和5年7月5日（月）午後7時～午後9時10分

### 課題解決のための方策についての意見

- ・人が集まる居場所と、若い方たちが異年齢交流するチャンスがない。
- ・第4土曜日に湖南省総合体育館でスポーツをやっているが、若いママさんと、子どもさん、多い時で130名がニュースポーツ等で楽しみにしてこられる。居場所づくりとなっている。
- ・下田学区民会議は、いい感じで地域で子どもを育てておられるなど感じた。小学生とお年寄りだとなかなかしゃべれないが、日枝中の生徒会が、ボランティアとして7～8人来ておられたので各グループに入られて、とてもリーダーシップをとられていた。
- ・以前は通学合宿というのをやられていた。そして、もらい湯とか、近所のおっちゃん、おばちゃんが晩御飯を一緒に作りに来てくれたり、話をしに来てくれたりということをやっていた。
- ・今のようにお互いのプライバシーを尊重することも大変大事だが、やはりいろんな方としゃべれて、「あれどこの子どもさんやなあ」とか、不審と思われぬような挨拶ができるような時代に戻れたらいいと思う。
- ・人が交流していくというのは昔の形もいいかな、と。人が出る場をいろんな形で作っていくということが大事。
- ・大きな行事、夏祭りなどは多数の参加者があるが、参加はいいけど、準備は少し面倒やから楽しいことだけ参加しようというような風潮は、湖南省でもあるし、日本全体そうではないか。
- ・祭りは昔から氏子の人たちがするものだったけれども、今はまちづくりのための夏祭りのような祭りもある。その祭りについて興味を持たせるかっていうところで、まずはどういふものなのかっていう、学習や興味を持ってそのお祭りについて知るところが大事で、そういう仕掛けづくりがいのではないか。
- ・今年度下田小の方では、盆踊りの再開を考えられているそうで、仮装して参加する。それが昔はあって、とても楽しかった記憶がある。子どもの時に楽しかったということは、きっと地域への愛着に繋がる。
- ・子ども中心・子どもの参加など、子どもをまちづくりの中心にし、そこから広げていくということが、まちが活性化していくという意味では大事なのかなと思う。子どもの時にこんなことが楽しかったっていうのは、将来の宝物になる。
- ・地域の行事に結びついたり、地域のおじいちゃんおばあちゃんの顔が思い浮かんだりしたら、何も言わなくてもそこに愛着と誇りを生まれるのだろうなと思った。
- ・湖南省の中に小さな資源はいっぱいある。石部宿や、紫雲の滝等もある。そのような小さな資源がいろいろあるけれども、埋もれているのを、もう少しその一つ一つに物語性を持たせて、どうなって始まったのかとか、それに関わっているものがどんなものか、一つの小さな資源がどんどん膨らみ、いろいろなものや人に繋がっていき、そこへ寄ってくる人たちが増えていくというようなイメージ。
- ・例えば東海道五十三次で石部は泊まる場所であったっていうのを一つ作って、それに関

する物語性を持たせていく。そこに例えばこういう歴史があるから、ここが宿場町であったとか、枝葉がいっぱい出てくるし、その枝葉がその一言に寄ってくる。

- ・観光ボランティアに案内していただくと、よく勉強しておられるのでとてもわかりやすい。
- ・地域に愛着を持ってもらうためには、地域に居る人間が活動し、続けていくことが大切である。
- ・何回も続けることで、お互いが顔見知りになったり継続したりすることができる。

### ③令和5年度第2回生涯学習審議会

○令和5年11月28日（月）午後7時～午後9時10分

今後、市に期待する取り組みについての意見

- ・地域への愛着は、歴史を知ることが原点になる。
- ・「ひと」「もの」「こと」を整理して誰もが学びたいな、あそこへ行ったら学べるというような資料館であったり、市史の編纂であったり、生涯学習していくためのベースとなるものが必要ではないか。新しく作るとなると大変なので、今あるものをどう活用していくのかということが、非常に大事ではないか。
- ・例えば、三雲小学校の児童は参勤交代で使った東海道を自分たちの通学路として使っている。とてもすごいことなのですよ。そういうことを参勤交代があったということをお教えしたりすると、狭い道であったとしてもそこを歩いた記憶が頭の中に残って地域に対する愛着ができる。一旦外に出るけど、愛着のある町だから帰ってくる。帰ってくるふるさとが湖南省市であって欲しい。
- ・人権や多文化共生を大切にしていって湖南省市のいいところを伸ばしていく活動をしていただきたい。
- ・外国人住民の比率が7%を超えている。湖南省市は人権教育の成果か、受け入れや共生が進んでいる。差別のない、頑張った人が成長できるという住みやすい地域にしていきたい。湖南省市のいいところを伸ばしていく活動をしていただきたい。
- ・外国籍住民も同じ市民として、まちづくりに参画してもらおう。
- ・外国籍住民が幸せに暮らせるまちづくりや、交流の間に入る。
- ・観光ボランティアは、よく勉強されている。観光ボランティアを続けられる仕組みづくりが必要ではないか。
- ・よくクラシック音楽は敷居が高いと言われるが、クラシック音楽も文化ホールで聴くと、親近感やとても距離が近くなり、「クラシックもなかなかいいじゃないか」みたいな感じになって、それでファンがつくこともある。愛着を持つのに一番大切なことは距離感ではないか。近さを感じることによって、愛着も深まっていくのではないか。

#### ④令和5年度第3回生涯学習審議会

○令和6年3月7日（木）午後7時～午後8時45分

まとめについての意見

まとめのテーマ①地域における社会教育の目指すもの

②社会教育を基盤とした人づくり、繋がりづくり、地域づくりに向けた具体的な方策

③その他

- ・地域の夏祭りで見られるような、昔からの住民と新しい住民、外国にルーツのある住民が湖南市の縮図としてあると思う。
- ・人たちの交流をどうせやるなら面白いことをやろうということが一つのテーマになった。裏には高尚なテーマも必要だが、面白がってやったことが良かった。キッチンカーを呼んだりステージ発表をしたりすると、いろいろな人が子ども連れで来る。大人は大人で集まって長椅子に座って食べたり楽しんだりしている。それを見ている役員も地域の住民もやりがいを感じている笑顔。皆がとにかく楽しんでいる。イベントは一発花火とよく言われるが、やることに意義がありそういうものが地域の人たちのつながりづくりに貢献しているということを実感した。
- ・吉永は八丈岩があり、三雲城がある。住民のボランティアで土日祝だけ朝10時から夕方4時まで登山口の入口のところに案内係として詰めている。来られた方に話しかけて案内マップを配ったり質問に答えたり送り出したりしている。もちろん県内の方も多いが他府県の方がすごく多い。興味のある人はよく調べて来てくださる。関東や東海からもいらっしゃる。帰りに楽しかったかどうか聞くと、楽しかったとおっしゃる。興味がわかればわくほど情報を得てくださる。つながりもあるようだ。中心になってやっている人がすごく積極的で次々に新しい企画を考えて市にも提供されている。市や県やもっと遠いところとも連携されている。すごいエンジンになる人が居るから幸いだ。周辺にいる者も、だんだん三雲城に誇りを持てる。地域に誇りを持てることにつながっている。まさに歴史を大事にして、私たちはそこに住んでいてある種の誇りを持っている。地域ボランティアは多いように思う。
- ・毎年11月に、のろしりレーをするので、その前には周辺や山道の掃除をしてきれいにして、参加しているボランティアは楽しそうにされている。
- ・まちづくりセンターに行くと、外国人の方だけのバンドをされていて、たくさんの方が来られている。子どもから大人までサークルをしに来られる。同じ地域に住んでいるのに何も知らなくて残念なので、交流があるといいと思う。
- ・夏祭りなど地域でやっているのでも、その役員になると仕方なくこなしているような部分もあるが、子どもたちが大きくなって帰ってきたときに参加できる場所があるのはいい。
- ・文化協会で11月に文化祭を開催している。絵画体験などで近所の小学生もたくさん来て描いてもらっていたが、コロナ以降できていなかった。1日だけだがいろいろなサークルの発表がある。大人から子どもまで文化を通じて毎年1回文化祭を市の協力をいただきながらしているが、サークル自体減ってきて今は26団体しかなくなってきている。
- ・文化協会を通じて社会に参加させていただいていると感じる。文化協会の役員とも文化を推進することを続けていきたいと話しているが、若い人はサークルに入らない、高齢の者も夜は車

に乗れないとかで、解散になってしまっている。役員で宣伝はしているが、なかなか増えない。鳥取の北栄町と文化の交流をしている。お互い絵を送り合って展示している。文化協会はとてもいいと思うが、なかなか存続が難しくなっている。石部文化ホールも廃止されると聞いているので発表する場も置いておいてほしいと思っている。

- ・子どもが小さいときは、みんなでおみこしを作ったり交流もあつたりしたが、今は地域の交流もなかなかないと思う。今の役員には運動会や祭りなどコロナも落ち着いてきたのでやっていただきたいと楽しみにしている。
- ・歴史的誇り、ここに住んでいる、愛着を持つという要素を知らしめるところが社会教育施設であり、社会教育ではないかと考える。例えば図書館や歴史民俗資料館で湖南省の文化のことをみんなに周知して、他人事ではなく守っていくべきものがたくさんあるということ具体的に知っていただくことが大事ではないか。
- ・ここ数十年で湖南省内の江戸時代から続いていた行事が2つなくなった。そのなくなりかたが極端で、全部やらなくなる。他市では全部やめるのではなく、無理があればちょっとずつ減らしていく、時代に合ったやり方で続けていこうというシステムをやっている。湖南省はなぜ極端に10から0になってしまうのか。そういう意味では知らない文化財がたくさんあるんだよとか、伝統的な行事がたくさんあるんだよとか、こういうところが大事だよということをやさしく具体的に知ってもらうことが湖南省を愛するということにつながっていくのではないか。それができれば、一気に行事がなくなるということを防いでいけるのではないか。社会教育というと、やはりとっつきにくいので、みんなで考えていくことが大事でないか。
- ・「温かい暮らしや温かい人間関係を作っていくこと」ととらえている。それが地域の愛着につながるのではないか。今、他県に11月から居るが、このまちでは見知らぬ人にも挨拶をする習慣がある。挨拶があると、「私、ここにいてもいいんだな」とか、「町の人に認められている」とか、「この方と繋がれそう」という感覚がする。実際経験することによって、挨拶のパワーをすごく感じた。そういうことの積み重ねが人間関係を作っていく。簡単なことだけど、大事なことだと改めて思う。湖南省にいと人々の中で流されていくのだろうと思うが、それをだれが率先してやっていくこと、賛同する方を増やすことを一つずつ進めていくことが大事。
- ・「地域における社会教育のめざすもの」は、居場所づくりが皆さんの意識にあがっている。場所だけでなく、そこに人がいることが大切。そこにいる人が人とつながる力を持っているか、相談者の中には知られたくない人もいるので、そこをわかる人にその場においてほしい。福祉と重なる部分ではあるが、そういう人を育てることが大切。
- ・「滋賀の社会教育委員活動ハンドブック」には、「社会教育とは、教育のうち、学校または家庭において行われている教育を除き、広く社会において行われている教育」と書かれている。施設のことは「公民館、図書館、博物館、青少年教育施設といった公的な社会教育施設での教育活動以外にも、「カルチャーセンター」のようなものも入ると書かれてあり、本当に広範囲。
- ・「地域における社会教育のめざすもの」と言ったときに家庭と学校も含んですべてとなると子どもを真ん中にして子どものより良い幸せのためを考えると、高齢者も障がいのある人も外国にルーツのある人もつながるといえる気がする。
- ・湖南省は「楽しくて力がつく湖南省教育」をかかげている。学校は学力をつけていると思うが、「力がつく」の「力」は生きる力のことだと思う。生きる力ということは地域も大きいのではないか。学校の先生や親は、子どもに対して直接的に責任を持っている立場だけど、地域の人

はいい意味で責任がないので、「大丈夫、大丈夫」と言えるし、小さなことでも地域の人がほめたり認めたりすると子どもは元気になるのだろう。そうやって自尊感情が育っていくと子どもは幸せになり、幸せな子どもはいい地域人、いい大人になっていくと思うと子どもを真ん中にするのは大事。

- ・乳幼児から地域へという意味では、サロンの居場所は敷居が高い施設ではなく、だれでも気軽に小さい子からお年寄りまで行けて、そこにつなぐ人、つなぎ人がいることが大切。イメージ的なことですが、つながりづくりや場所づくりがあるまちであれば過ごしやすくいきいきできると思う。
- ・コロナ前は「地域の祭りにぜひ中学生も参加させてください」「お手伝いに来させてください」とよく地域の方から学校にお声がけいただいていた。そのときに地域の方には、「声掛けは地域の方でしてくださいね。学校ができることは、例えば、部活動この子はこの日地域の活動に参加しますからそちらを優先してやってくださいと、できるようにすることです」とお話ししていた。学校でやるべきこと、地域がやるべきこと、行政がやるべきことはいったい何なのかを考えていかないと人任せになってしまってもうまく回っていかなくなるのではないかなと思う。
- ・コミュニティスクールの会長には子どもが意見を言ってそれを大人が形作っていくようなイベントを作ってほしいとお願いしていた。中学生が実行委員長になって考えたことを、まちづくり協議会や青少年育成会議の方が実動部隊となって小学生を対象としたクリスマスパーティーを12月にしてくださった。まさに、子どもを真ん中にして何かをやっていくこと、そうやって地域の方が関わってくださった経験が、きっとこの子たちが大人になったときに恩返しを地域にしていきたいなということにつながっていくと嬉しい。それが誰もが安心して暮らせる居場所づくりであったり人と人との関係性を作ったりしていけるのではないかな。
- ・湖南省には誇れるものがたくさんあるが、なかなか周知できていない。それは地域の人にもなかなかわかってもらえていないので、知ってもらえる場や、機会をどうやって作っていくかをみんなで考えていかないといけない。新しい物を作るのは大変だと思うので、今あるものをどういう風にみんなが知ってつないでいくかということが、社会教育が目指していく地域づくりにつながっていくことになるかなと考えた。
- ・湖南省教育方針の図は学校教育だけでなく、社会教育でもいえることではないかな。  
「仲間づくり 多様性を認め合う」＝社会教育で言えば、まなびあう地域づくり。  
「ふるさと意識の醸成 地域の人とのあいさつから」＝地域の人とのかかわりの中からふるさと意識の醸成がされていくのではないかな。  
「学びの保障」＝学校の中では授業の湖南省スタイルということだが、外国人や障がいのある方・ない方、高齢者等誰でも学びたいと思ったときに阻害されることなく学べるのが社会教育の中でもいえるのではないかな。



## IV. おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」～人づくり・つながりづくり・地域づくり～

○人生 100 年時代の到来が予測されるなか、より豊かに生きるためには、生涯にわたって自ら学習し自己の能力を高め、働くことや様々な主体と協働し、地域固有の魅力や特色をあらためて見つめ直し、地域の維持発展に取り組むことが必要であり、社会の課題解決につなげていく力を伸ばす教育が求められている。

○本会議では、「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」について、2年間計6回の会議を開催し、鋭意議論を重ねてきた。この間の新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大は、社会、経済、文化等、我々の生活のあらゆる分野に多大な影響を与え、地域活動をはじめ社会教育に様々な制約が生じたことを前にしながら、議論を進める結果となった。

○社会教育は、社会教育法において「学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。」と定義されるとおり、学校教育の領域を除いたあらゆる組織的な教育活動を対象とするものであり、個人が生涯にわたって多様な学習を行い、その成果を生かす実践の機会を提供するものとして、生涯学習社会の実現に向けて中核的な役割を果たすべきものである。

○住民相互の関わりという点では、地域行事や祭りなど、地域の歴史や人とふれあう機会を通じて、相互に理解したり認め合ったりすることによる自己肯定感や、つながりづくりなど、住民同士の絆やふるさと意識の醸成につながる。

○地域で共に学び、問題意識を共有したり、温かい暮らしや温かい人間関係により地域に帰属意識を持ったりすることにより、地域に対する愛着と誇りが育まれる。このことは、市民一人ひとりが率先して取り組んでいくことが不可欠である。

○人権や多文化共生を大切にしていくなか、湖南省の良さを大切にしながら、「楽しくて力のつく湖南省教育」を社会教育においても推進されたい。

○今後、これらを推進していくための社会教育にかかわる方針や行政施策について、今回提出した本報告書が、反映され活かされることを期待する。

## V. 資料等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 令和4年度・令和5年度 生涯学習審議会 開催概要
2. 生涯学習審議会委員（社会教育委員）名簿
3. 湖南省生涯学習審議会条例

令和4年度・令和5年度 生涯学習審議会 開催概要  
 テーマ:「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」について

回		開催日	審議内容	備考	
令和4年度	第1回	会議	令和4年8月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育委員・生涯学習審議会委員の経過・役割について</li> <li>○役員選出について</li> <li>○滋賀県社会教育委員連絡協議会理事会等の報告について</li> <li>○令和4年度・5年度の取り組みについて</li> <li>「湖南市の社会教育・生涯学習の振興について」</li> </ul>	
	第2回	会議	令和5年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滋賀県社会教育委員連絡協議会理事会等の報告について</li> <li>○テーマについて意見交換※</li> </ul>	※湖南市での取り組みについて、現状と課題として考えていることを、小グループで話し合い
	—	懇談会	令和5年3月20日	・教育委員との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎今年度の生涯学習審議会の取り組みについて</li> <li>◎令和5年度近畿地区社会教育研究大会への取り組みについて</li> <li>◎意見交換等</li> <li>○社会教育のありかたについて</li> </ul>
令和5年度	第1回	会議	令和5年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市事業の状況について(文化・スポーツ、文化財、図書館について)</li> <li>○令和5年度役員選出の報告について</li> <li>○滋賀県生涯学習・社会教育研修会等の報告について</li> <li>○テーマについて意見交換※</li> <li>近畿大会分科会討議のポイントについて(グループ)</li> </ul>	※課題解決のための方策について小グループで話し合い
	第2回	会議	令和5年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近畿地区社会教育研究大会〔滋賀大会〕について報告</li> <li>○「令和5年度 湖南市の社会教育」について</li> <li>○テーマについて意見交換※</li> </ul>	※今後、湖南市に期待する取り組みについて
	第3回	会議	令和6年3月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湖南市人権教育研究大会等について報告</li> <li>○テーマについて意見交換※</li> <li>○生涯学習審議会委員(社会教育委員)としての2年間の感想等について</li> </ul>	※テーマのまとめについて

○湖南省生涯学習審議会条例

平成16年10月1日

条例第94号

改正 平成18年9月25日条例第32号

令和4年3月31日条例第6号

(設置)

第1条 湖南省における生涯学習の振興を図るため、湖南省生涯学習審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 市長又は湖南省教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、市民の生涯学習に資するための施策に関する重要事項の調査審議
- (2) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第13条に規定する重要事項の調査審議及び同法第17条第1項に規定する社会教育委員の職務に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員15人以内で組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が教育委員会と協議して委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
  - (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
  - (3) 学識経験のある者
  - (4) その他教育委員会が必要と認める者
- 2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 第1項の規定により委嘱された委員は、社会教育法第15条第1項に規定する社会教育委員に充てられたものとする。

(役員)

第5条 審議会に、委員の互選により会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、会議の議長となり、会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の過半数の出席で成立し、出席者の過半数で決する。

(報酬等)

第7条 委員の報酬等の額及びその支給方法は、湖南省特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成16年湖南省条例第48号）の定めるところによる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、社会教育に関する事務を所管する課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

付 則

この条例は、平成16年10月1日から施行する。

付 則（平成18年条例第32号）

この条例は、平成18年10月1日から施行する。

附 則（令和4年条例第6号）

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

(湖南省社会教育委員条例の廃止)

2 湖南省社会教育委員条例（平成16年湖南省条例93号）は、廃止する。

(湖南省特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 湖南省特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成16年湖南省条例第48号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略